

**一般企業向け
人材育成カリキュラム
ベーシック版**

- **管理・監督者養成シリーズ**
 - ① **リーダーシップを高める**

JMI

株式会社 日本マネジメント協会（中部）

JAPAN MANAGEMENT INSTITUTE

〒464-0075 名古屋市千種区内山3-10-17 今池セントラルビル4F

TEL 052-745-6010 FAX 052-732-0010

MAIL jmi.145@aioros.ocn.ne.jp URL <http://www.jmi-web.co.jp>

管理・監督者養成シリーズ ① リーダーシップを高める

研修内容

時間	項目	詳細、得たい成果
1日間	開講 オリエンテーション 講師自己紹介 本研修の目的と進め方 研修における目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修の目的と内容について理解する。 ● 研修の進め方は、グループディスカッションやロールプレイングを織り交ぜて進めることを理解する。 ● この研修を通して、何をしたいのか、何を期待しているのかを明文化する。
	1. 周りからの期待を考える 【個人ワーク】	1) 組織から期待されていること、部下から期待されていることを考える。 ※ 宿題として、上司や部下と話をしてくる。「自分が期待されていること」と間違いがないかなど。
	2. リーダーシップとは何か? 【グループ討議、講義】	1) グループでリーダーシップの高い人といったら、誰が思い浮かぶ？ 何故その人のリーダーシップが高いと思うのか？などのテーマに基づき議論をする。 2) その上で、リーダーシップとは一般的にどのようなことかを理解する (リーダーシップとは、周りにより影響を与え、より良い方向への行動を促せる力) 3) 併せて、リーダーシップに関する理論的な事柄 (PM理論、SL理論、コンティジェンシー理論など)
	3. 事例研究 【個人ワーク、グループ討議】	1) 事例① 自分より上位者が組織方針や中期の計画を部下に語った。が、往々にして上位者が伝えたいことはなかなか下の者には理解できないもの。そこで中間に位置するあなたがリーダーシップを発揮するとしたら、どう対応したら良いだろうか？ 2) 事例② 部門間の連携を行って業務を遂行しなければいけないところ、部下が他の部署の至らなさを指摘するのみで、協力的な態度を取ろうとしない。この部下に対して、リーダーシップを発揮し、より良い行動を促すとしたら、どうしたら良いだろうか？
	4. リーダーシップの源泉 ～リーダーシップを高める心構えとは～ 【講義】	1) リーダーシップを高めるためのいくつかの考え方・行動の仕方を理解する。 2) リーダーシップを高めるためには、まず自分自身を律すること。 (自分で決めたことをいかに継続してやっていけるか) 自律力を高め継続力を高めることで、リーダーシップも高まる。 自律力を高めるためにはどうしたら良いかを理解する。 3) 心は言葉によって作られることを理解する。 4) プラスの発想をすることの大切さを理解する。 (〇〇だからできない、ではなく、〇〇だからこそできることは？と考える) 5) ビジョンを持ち、情熱をもって語る。 6) 常に「長期的視点」「根本的視点(そもそも何のために?)」「多面的視点」を持って思考し、行動する。
	5. 研修の振り返り&今後の行動宣言	1) 本日の研修を振り返り、今後どんなことに取り組んでいくのかを決める。 2) それを継続して取り組んでいける仕組みも考える。
6. 講師講評		